

令和6年度 第2回南丹市社会教育委員会 会議録

日 時：令和6年11月6日(水)午後2時～午後4時

場 所：南丹市役所 3号庁舎 2階 第4会議室

出席者(順不同・敬称略)

社会教育委員 小南仁、清水範子、北村友子、片山智文、岡島賢峰、古北真里、小泉顕雄、
安藤眞吾、今井恵一、矢野茂世、芦刈毅

(欠席者)前野正博

市教育委員会 野々口教育次長、川勝社会教育課長、井尻課長補佐、奈木野社会教育係長、
上原図書館係長、橋本主事

傍聴人 0人

1 開 会 (司会・進行)井尻課長補佐

2 あいさつ 小南代表

3 協議事項 (1)日吉生涯学習センター改修の概要について
・資料に基づき説明

○質疑応答

(委 員)

ホールも改修するのか。

(事務局)

いわゆる舞台音響・照明・吊物等については対象外。本工事の概要としては、雨漏りが酷いため屋根の改修、外壁のひび割れ等の改修。外構面は一部駐車スペースの増設工事。内部は特定天井(吹き抜け天井)を含めたホール部分の改修、エントランス部分と図書室の屋根を改修し転落物防止ネットを設置する。その後、老朽化している冷暖房設備・高圧電気設備、トイレを改修し、舞台照明以外の照明について、全てLED化する。

(委 員)

冷暖房についてはどのようなものか。

(事務局)

会議室部分についてはルームエアコンだが、吹き抜けやホール部分については個別エアコンで

は空調効果が少ないため、冷温水機を使った空調を利用している。その寿命が来ているので更新する。

(委 員)

生涯学習センターが休館し、図書室のことも気になるが、設定された開館時間は今までの生涯学習センターと同じか。

(事務局)

休館前の開館は祝日を除いた毎週火曜日から日曜日までだった。時間は平日は 9 時から 18 時まで、休日は 9 時から 17 時としていた。今回の臨時図書室については規模を縮小するという事で日時の設定をしている。

(委 員)

同じような時間で開館出来ない理由は。人員数は変わらないのではないか。住民サービスが縮小するような気がするが、規模が小さいから開館時間を短くするというのは繋がらない気がするが。人員問題があるのか。

(事務局)

人員の問題ではない。図書は中央図書館に次いで多くの図書を持っており、その内の 5～6 千冊だけを持っていく。予算的には日吉図書室も今年度予算計上しているので、新書等については他の図書館・室と同様に新しいものを入れて配架する予定。ただ、臨時図書室については、蔵書数も少なくなることから、人員不足となっている他の館（室）へ人員をまわし、開設日と時間を縮小したい。週 2 回、図書室のつどいを日吉ではやっているので第 3 日曜日に引き続き開催させていただく。

(委 員)

日吉生涯学習センターではバレエなど身体を動かすサークルグループが上の会議室も含めて多く利用されていた。そのような団体はこの 1 年間はアスエルなどで活動されるのか。私もアスエルを色々と利用しているが、なかなか場所が取れなかったりバッティングしたりという事もあると思うが。日吉町内で利用できる同等の施設はあるのか。

(事務局)

全市的な意味合いでホールと言えば、アスエルや国際交流会館もあるが、主に使われている方は日吉管内の方が多かった。そのエリア内で同じような施設として、所管は異なるが、胡麻駅の近くにある胡麻基幹集落センターや殿田のとくほ一などの代替施設を、今までご利用いただいた方には休館が決まった段階で説明させていただいた。亀岡のグループでは、この期間は使わないと回答いただいている。

(委 員)

今の日吉支所の横に講堂みたいなものがあつたかと思うが、そちらは使えないのか。

(事務局)

は一とびあのことだと思うが、その体育館でも雨漏りが発生しているので利用して頂けない状況になっている。雨漏りしていない所は書庫として市役所の書類を保管している。

(委 員)

できるだけ今まで使っていた人が活動できる場所があるように案内や説明をしていただけたらと思う。図書室は週 2 日だけというのは少ないというのが率直な感想ではある。ただ、支所の 3 階の図書室となれば、なかなか気軽に来る人も減るような気がする。

(事務局)

日吉支所は生涯学習センターと同じく駅が近いが、場所が変わってしまうと利用していただくのも難しいかもしれない。できる限り周知させていただく。そこに本が無くても中央図書館から取り寄せることも出来るので、日吉だけ使えないというような声が出ないように工夫・努力していきたい。

3 協議事項 (2)南丹市財政健全化プラン緊急対策について

・財政健全化プラン緊急対策に基づき説明

○質疑応答

(委 員)

市内の社会教育施設の関係では美山文化ホールと郷土資料館の 2 つが大きなものだが、他の施設についてはどうか。

(事務局)

細かい見直しの部分があるが内部の調整で運用していこうとしており、この 2 つの施設以外については具体的な見直しの方向は出ていない。日吉については日吉支所の部分を生涯学習センターへ持ってきて統合する案もある。生涯学習センターは社会教育施設としての部分を改修して使っていくということになってる。美山文化ホールについては先ほどの話のとおり修繕できる状況にないので何とか代替案を考えていかなければならない。地元の方にも協力していただいて、何とか前に進めていければと思っている。

(委 員)

新たな財源の確保にも積極的に取り組むとあるが、できるのか。予定通りに見直していったそれをまかなうだけの財政が確保できるのか。

(事務局)

逆に言うと、やっていかないともう財政が持たない。本来使わなくなった施設は取り壊さないといけませんが、取り壊しをするだけの費用もない。例えば更地にして施設を買い取って利用してもらえるとするのであれば譲渡なり無償で地域や団体にお渡しする話になるが、引き取り手が無い分については今すぐ手が付けられない状況。

(委員)

更地にした後で企業誘致などを市で進める予定はあるか。

(事務局)

企業誘致の予定はあるが、今使っている施設を更地にした所に来てもらえるのであれば更地にして進められが、そこが決まらない限りは取り壊しすらできない。

(委員)

財源が無いだけで終わってしまっていてはそこで終わってしまうし、何とか財源を確保する手立てを考えていただきたい。施設一覧を見ていても廃止ばかりになっていて、潰していくのは簡単だが何か新しいものを作り上げていくということも考えて頂けたらと思う。

(事務局)

市街化調整区域になるので今すぐは難しいが、八木、園部 IC や城南で、ここ 2～3 年の間に企業が来ていただけるという話も進んでいるので税収も増えるのではと思っている。一方でこのような言い方は正しいのか分からないが合併するために施設を残してきた部分もあり、一定整理をしていかないとこの先持たないということなので出来る施設は整理していくという提案がこのように出てきたのが実際のところである。

(委員)

美山文化ホールは完全休止で決まったのか。

(事務局)

その方向性で進んでいる。

(委員)

先ほどの企業のネーミングライツの対象にもならないのか。美山ブランドなどで場所なども活用できないのか。勿体ないと思っているのだが。

(事務局)

改修できるものであれば改修したいが、金額というよりは空調設備を修繕できない状態にある。業者からは新たに空調設備棟のようなものを建てないともう空調は使えないということだった。

水道についても漏水がありその都度修理するが、また別の場所から漏水するということを繰り返しており、漏水している箇所が確定できないため、この春から使う時以外は元栓を締めている状態。

貸出をしないという訳ではなく、現状をわかった上で使うのであれば構わないということにしている。10月の美山町文化協会主催の文化祭もここで行った。ただホール棟入ってすぐのトイレが使えないので会議室棟の方を使ってもらおうよう徹底してもらっている。

(委 員)

いつかは貸出も停止するのか。

(事務局)

美山の方からすれば閉めると何も文化施設が無くなってしまう。やはり集まって発表などができる場を代替案として示すのが筋かということで美山小学校の体育館について提案しているところ。

(委 員)

歳入の関係でネーミングライツの提案をされているが、一般的に大きな施設だとネーミングライツの価値があるので企業が投資されるのは分かるが、南丹市の施設でネーミングライツを採用している事例はあるのか。

(事務局)

現在のところはない。

(委 員)

そうなると現実的に考えて募集したところで応募が無い可能性が高い。その辺りを経営方針として健全化の中で営業活動もしていけないと難しいのではないかと思います。

(委 員)

美山小学校の体育館にホール機能をと書いてあって、必要と思われる機能・備品が下に並んでいるが、これらの見積もりを取ったりはしているか。

(事務局)

今のところしていない。改修の実績のある業者に正確ではないが概算として規模を基として考えて頂いたものである。今後、必要な場合は、積算していく。

(委 員)

美山文化ホールは設備は問題あるが、建物自体はどうか。雨漏りなどあるか。

(事務局)

外壁は特になく、雨漏りも無い。ただ、屋根に斜度があることから瓦が落ちたことがある。現在は修繕済み。

(委員)

耐震はどうか。

(事務局)

耐震も問題ない。

(委員)

雨漏りも改善したのか。

(事務局)

ホール部分は2重屋根にしている。

(委員)

市がクラウドファンディングするのは違反か。

(事務局)

行政がやる場合は、ガバメントクラウドファンディングになる。それも1つの歳入の取り方。以前の「にゃんたん市」の時はガバメントクラウドファンディングをした。予算がつかないのであれば、何とか自分たちでお金を集める方法を考えていかなければいけない。

(委員)

南丹市はお金が無いというネガティブキャンペーンが活性化されてしまって凄くマイナスイメージだと思う。若い世代の人たちにとって魅力が無くなってしまうような印象付けが進んでしまっている。お金が無いのは現実的に仕方がないが、それ以上にプラスになるようなキャンペーンや取り組みをやらしてもらわないと魅力ある南丹市に住みたいと思ってもらえなくなってしまう。社会教育施設は生涯学習にとって大事だし、この市に住むということに直結すると思うので、キャンペーンのやり方が上手でなければマイナスイメージだけが先行してしまい、南丹市が残念に思われるポイントではないかと思う。もう少しプラスイメージのあるものを上手く売ってもらえるような活動に市長自らが行ってキャンペーンしてもらえなど、積極的にやってもらえる必要があるのでないかと思う。

(事務局)

良い所を伸ばしていくこともしていかなければいけないと思うので、職員の知恵を絞りながら取り組んで、良い事が発信できるようにしていかなければいけないと思う。

3 協議事項 (3)その他

放課後児童クラブの入部希望者説明会、南丹市人権教育講座(第3講)映画上映、南丹市立文化博物館秋季特別展「麻田辨自展」について説明

4 その他

今後の研修会等について連絡

5 閉会あいさつ 清水副代表

※閉会后：文化博物館秋季特別展「麻田辨自展」を見学（自由参加）